

事業所名	多機能型通所事業所 しらうめ
------	----------------

公表日 2026年3月31日

利用児童数 2名 回収数 1名

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 お子さんの活動等のスペースは十分に確保されていると思いますか。	1	0	0	0		その日の利用者の人数や状態像、特性に応じて、ベッドの配置等を工夫し、活動スペースが確保できるようにしています。今後も環境を整えて、スムーズに活動に参加していただけるよう努めてまいります。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。(保育士2名、看護師2名、児童発達支援管理責任者(児童指導員)1名)	1	0	0	0		多機能型通所事業所としての人員配置を行っており、基準を満たしております。お子さんに安心して過ごしていただけるよう職員間での引継ぎを密に行っております。
	3 生活空間は、お子さんにわかりやすく構造化された環境(※1)になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	1	0	0	0		今後も引き続き、必要に応じて適切な環境整備を行ってまいります。気になる場所等がございましたら、いつでもお伝えください。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、お子さんの活動に合わせた空間になっていると思いますか。	1	0	0	0		感染対策の為、毎日使用した物品等の消毒等を継続して行っております。心地よく過ごしていただけるよう、清掃及び活動に合わせた空間の環境設定につとめてまいります。
	5 施設・環境等、過ごす環境で気になるところはございませんか	0	0	1	0		気になるところ等ございましたら、いつでもお声がけください。
	「はい」とお答えになった方にお聞きします。その環境は以下のどれですか						
	デイルーム、スヌーズレン室、面談室、お風呂、トイレ、駐車スペース、廊下、その他						
	その場所について、気になる内容を具体的に記入をお願いします。						
適切 な 支 援 の 提 供	1 お子さんのことを十分に理解し、お子さんの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	1	0	0	0		毎日、保育士、看護師、児童指導員でその日の支援方法や活動内容等を振り返り、よりよい支援の向上につとめてまいります。
	2 事業所が公表している支援プログラム(※2)は、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	1	0	0	0		ホームページに掲載させていただいている支援プログラムに即して、保育士が計画し、支援を提供しております。
	3 お子さんのことを十分理解し、お子さんと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、個別支援計画書(※3)が作成されていると思いますか。	1	0	0	0		今後もお子さんご家族の想いや希望、また課題に沿った計画の立案につとめてまいります。
	4 個別支援計画書には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からお子さんの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	1	0	0	0		お子さんの支援のみならず、ご家族が安心して利用されることで、活気やゆとりのある生活を営むことができるよう、地域と情報共有をおこない、ライフステージに応じた具体的な支援が計画できるよう、つとめてまいります。
	5 個別支援計画書に沿った支援が行われていると思いますか。	1	0	0	0		個別支援計画に沿って、活動内容を計画し支援を行っております。
	6 事業所の活動プログラム(※4)が固定化されないよう工夫されていると思いますか。	1	0	0	0		季節感を取り入れながら、また活動のプログラム内容が重ならないよう工夫しております。
	7 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	1	0	0	0		現在は感染対策等で院外での交流はできておりませんが、今後、病棟の利用者さんや隣接の城陽支援学校とのリモートや、訪問等で交流する機会を検討してまいります。
1 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	1	0	0	0		契約時にご説明させて頂いておりますが、ご質問やご不明な点がございましたら説明させていただきますので、いつでもお声がけください。	

利用児童数 2名 回収数 1名

保護者への説明等	2	「個別支援計画書」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	1	0	0	0	面談を行い説明させて頂いておりますが、ご質問やご不明な点がございましたら、いつでもお尋ねください。
	3	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング ※5)等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	1	0	0	0	家族支援プログラムに特化したトレーニングや研修のご案内は提供できておりませんが、今年度に病院主催の在宅人工呼吸器装着児・者災害対策講習会を案内させていただきました。
	4	日頃からお子さんの状況を保護者と伝え合い、お子さんの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	1	0	0	0	送迎時にご家族とスタッフが、連絡帳と併せて、その日の様子や体調等を丁寧に伝えあい、またスタッフ間で情報共有することで共通理解できるよう、つとめております。
	5	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	1	0	0	0	個別支援計画書の説明の面談等でお時間をお取りしております。また、日々の送迎時にご相談いただければ対応させていただきますので、いつでもお声がけください。
	6	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	1	0	0	0	今後も共感されていると感じていただけるよう、ご家族と信頼関係を構築できるよう、お子さんのより良い支援につとめてまいります。
	7	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	1	0	0	0	父母の会、保護者会、きょうだいの交流等の会は発足していない状況です。児童発達支援センター(ステップ)等で交流し、日々の悩みをご相談されているお話を伺っております。同じ医療的ケア児のご家族さまからのお話を聞きたい等のご希望がございましたら、ご相談ください。きょうだいの行事等の際は、通所や当院短期入所のご利用もご案内させていただきます。
	8	お子さんや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、お子さんや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	1	0	0	0	不安に思われることや、ご意見等がございましたら、いつでも遠慮なくご相談ください。
	9	お子さんや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	1	0	0	0	お一人お一人の異なる表現方法の発信を受けとめて、応答することで信頼関係の構築に努めたいと思います。ご家族にはお電話や連絡帳等、朝夕の送迎時を活用し、丁寧な情報の伝達に努めてまいります。
	10	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をお子さんや保護者に対して発信されていますか。	1	0	0	0	今年度より、病院の公式LINEアカウントより活動報告をさせて頂くことができました。また在宅支援のアカウントが1月より開始されておりますので、こちらも登録お願いいたします。
	11	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	1	0	0	0	今後も個人情報の取り扱いには十分に注意してまいります。
	非常時等の対応	1	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	1	0	0	0
2		事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	1	0	0	0	年間の活動計画に避難訓練を取り入れております。今年度は防犯訓練を行いました。また、実際に小さな揺れの地震がおこった際には、避難時の役割分担通りの動きができるかを確認しました。病院の避難訓練も実施されております。
3		事業所より、お子さんの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	1	0	0	0	緊急時の対応等ご説明させて頂いておりますが、保護者のみなさまに周知していただけるようにつとめてまいります。
4		事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	1	0	0	0	けが等があった場合は、医師の診察を行い、職場長及び医療安全管理係長に報告し、指示を受け対応して、ご家族に説明させていただいております。またご質問、説明が不十分であった場合等ございましたら、その都度、対応させていただきます。
満足度	1	お子さんは安心感をもって通所していますか。	1	0	0	0	抱っこや触れ合い等の遊びや日々の関わりの中で、スタッフとの愛着形成を育み、安心感をもって来所いただけるようつとめてまいります。
	2	お子さんは通所を楽しみにしていますか。	1	0	0	0	「今日は何をするのかな」と期待感をもっていただけるような活動を実施することで、楽しんで来所していただけるよう励みます。
	3	事業所の支援に満足していますか。	1	0	0	0	安心して満足していただけるよう、引き続き、医療ケアや発達に応じた療育活動の内容の充実につとめてまいります。
	4	現在の利用回数・利用曜日について満足されていますか	1	0	0	0	ご希望の日に沿えるように、今後とも調整をおこないたいと思います。キャンセルが出た場合は、ご連絡させていただきます。
	5	アンケートへのご協力ありがとうございました。今後、当事業所に望まれることやご意見等ございましたらご記入下さい。					いつもありがとうございます 今後とも、ご本人もご家族も安心して「また来たいな」と言ってお家に帰っていただけるような、ほっこりあたたかい場所であるようスタッフで協力してまいります。

※1「本人にわかりやすく構造化された環境」とは、こども本人がこの部屋で何をするのがわかりやすいよう、机や本棚の配置などを工夫することです。

※2「支援プログラム」とは、事業所における総合的な支援の推進と事業所が提供する支援の見える化を図るため、事業所で行われている取組等について示し、公表することが求められています。

※3「児童発達支援計画(個別支援計画)」は、児童発達支援を利用する個々のこどもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援方針や支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことです。これは、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成し、保護者等への説明を行うとともに同意を得ることが義務付けられているものです。

※4「活動プログラム」は、事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。こどもの発達状況や障害の特性等に応じて柔軟に組み合わせることで実施されることが想定されています。

※5「ペアレント・トレーニング」は、保護者がこどもの障害の特性やその特性を踏まえたこどもへの関わり方を学ぶことにより、こどもの行動変容することを目標とします。